

# 2020年結核登録者情報調査年報 集計結果

2021年8月31日

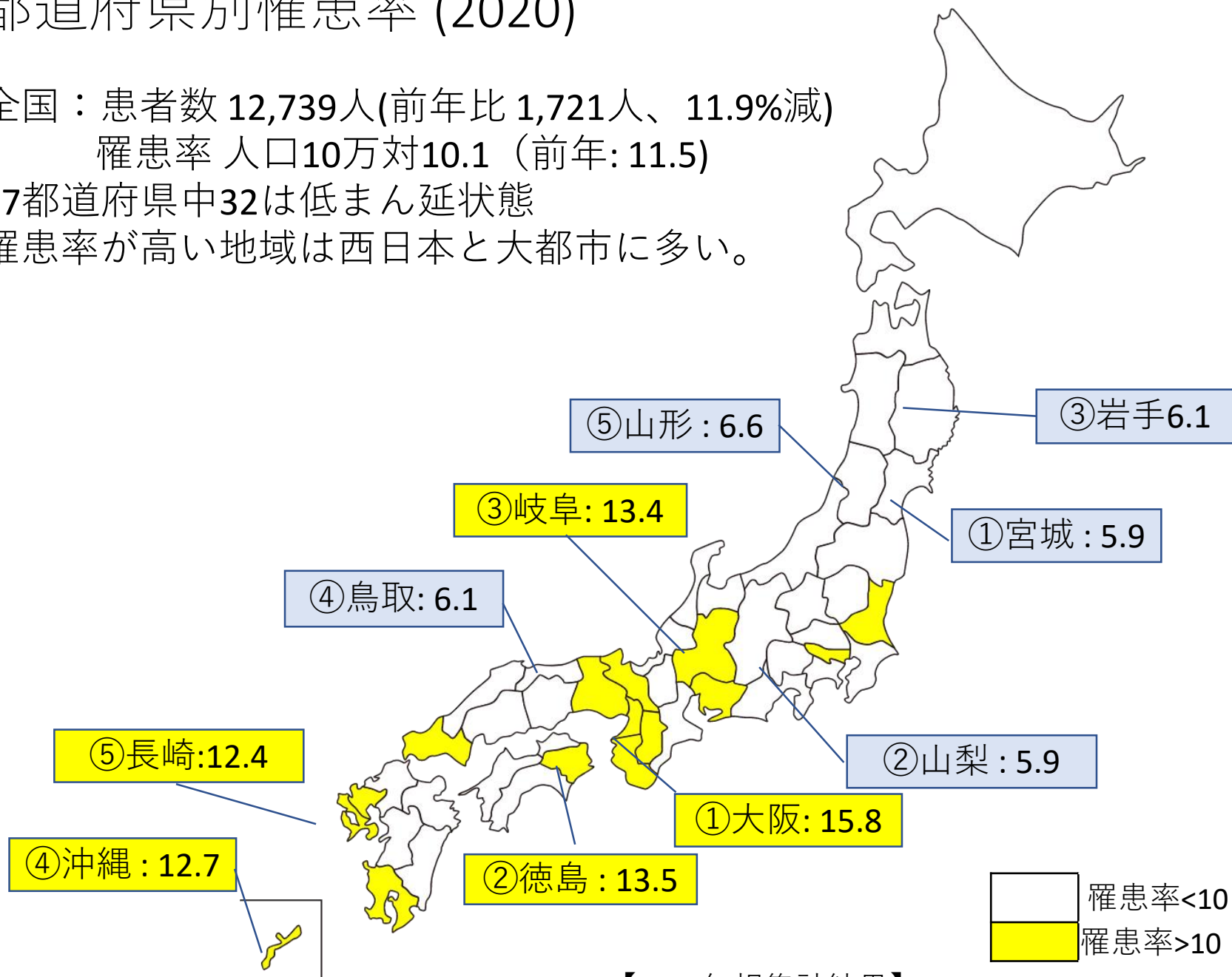
公益財団法人結核予防会結核研究所  
ストップ結核パートナーシップ日本

加藤 誠也

kato@jata.or.jp

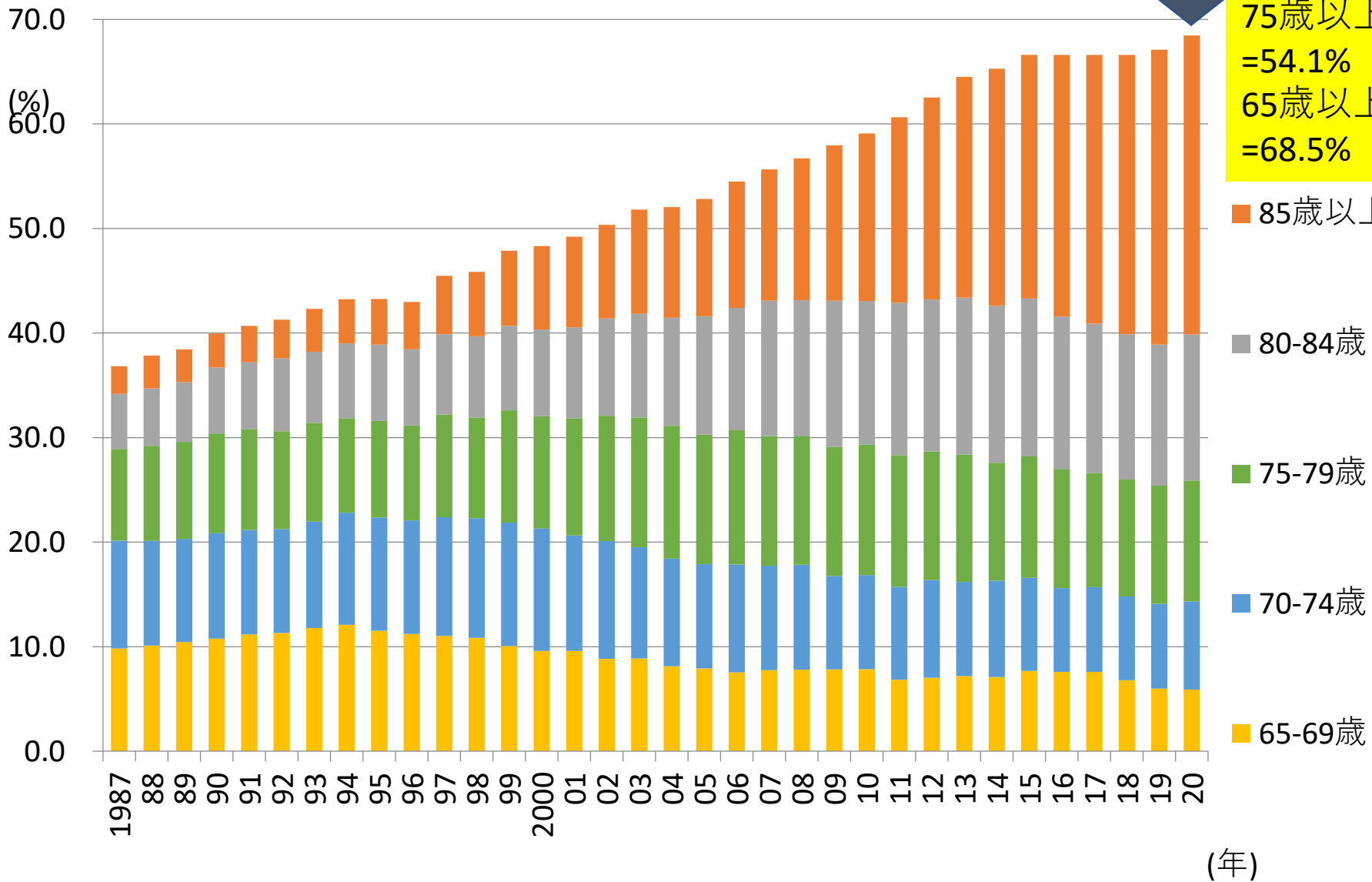
# 都道府県別罹患率 (2020)

- 全国：患者数 12,739人(前年比 1,721人、11.9%減)  
罹患率 人口10万対10.1 (前年: 11.5)
- 47都道府県中32は低まん延状態
- 罹患率が高い地域は西日本と大都市に多い。



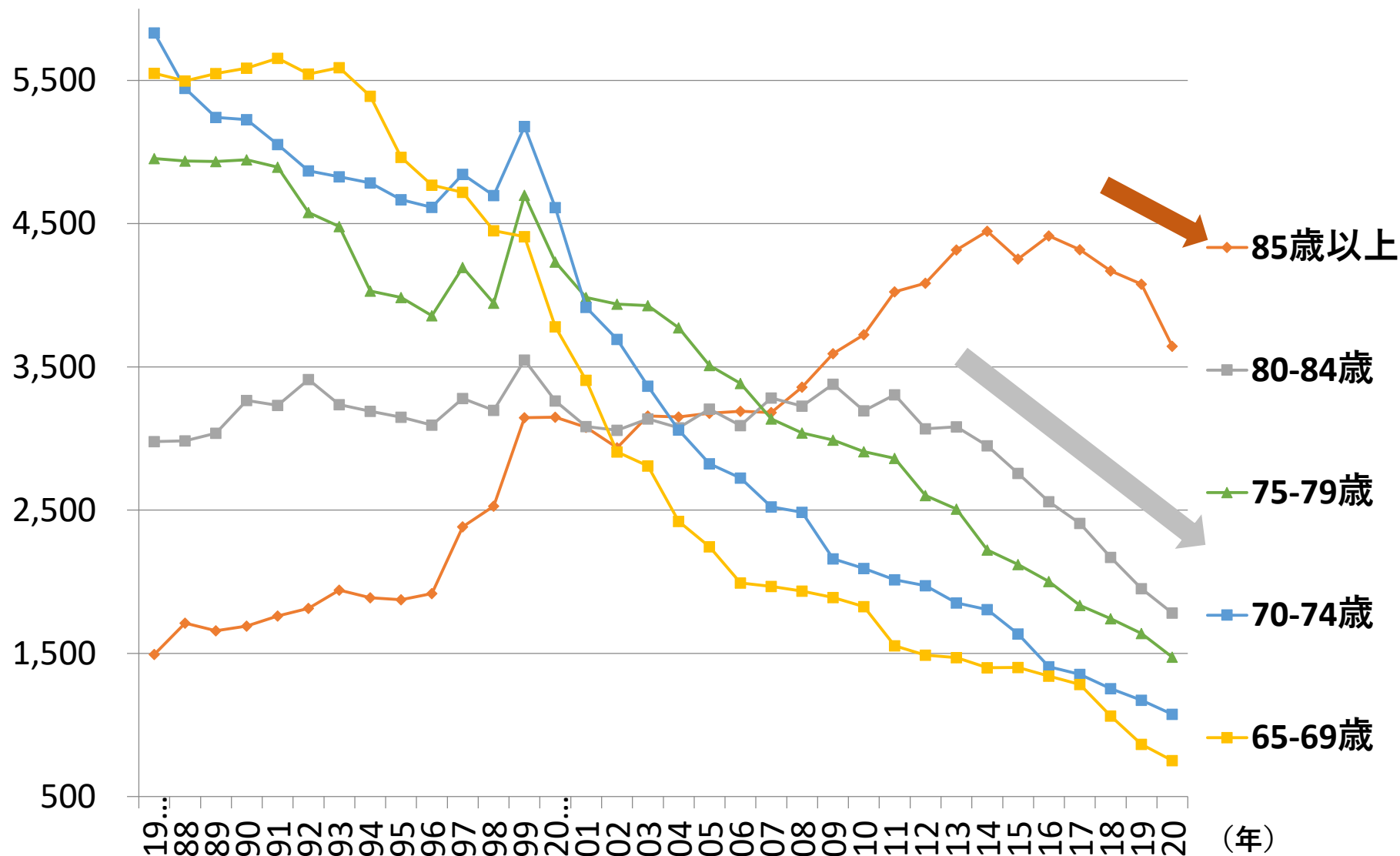
【2020年報集計結果】

# 高齢患者割合の年次推移 (1987-2020年)



【2020年報集計結果】

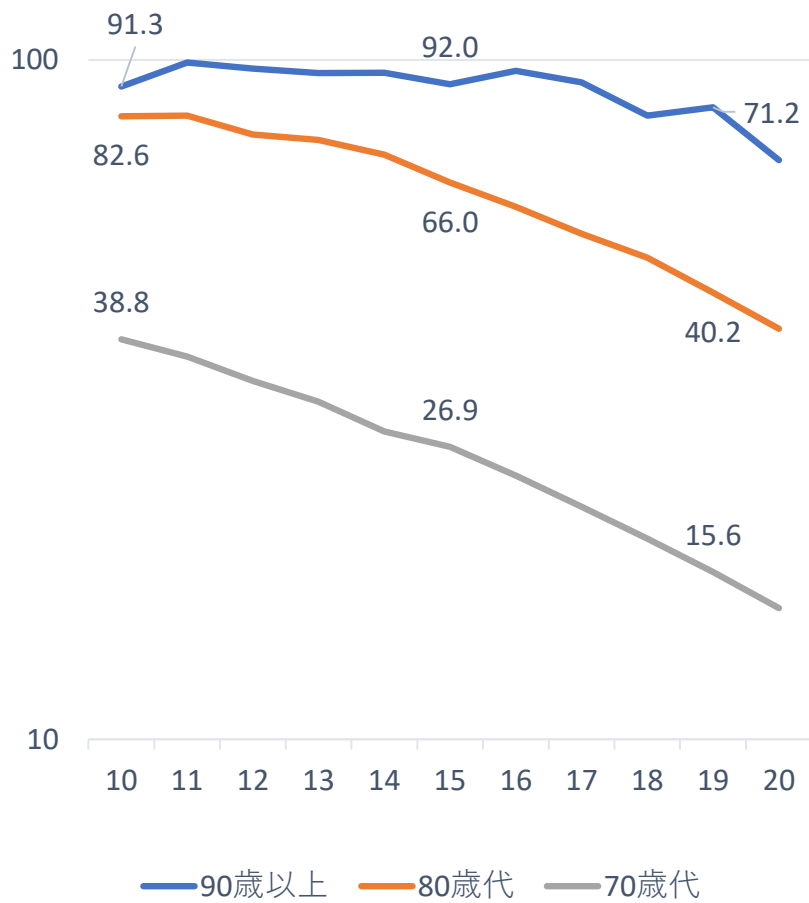
# 高齢結核患者数の年次推移 (1987-2020年)



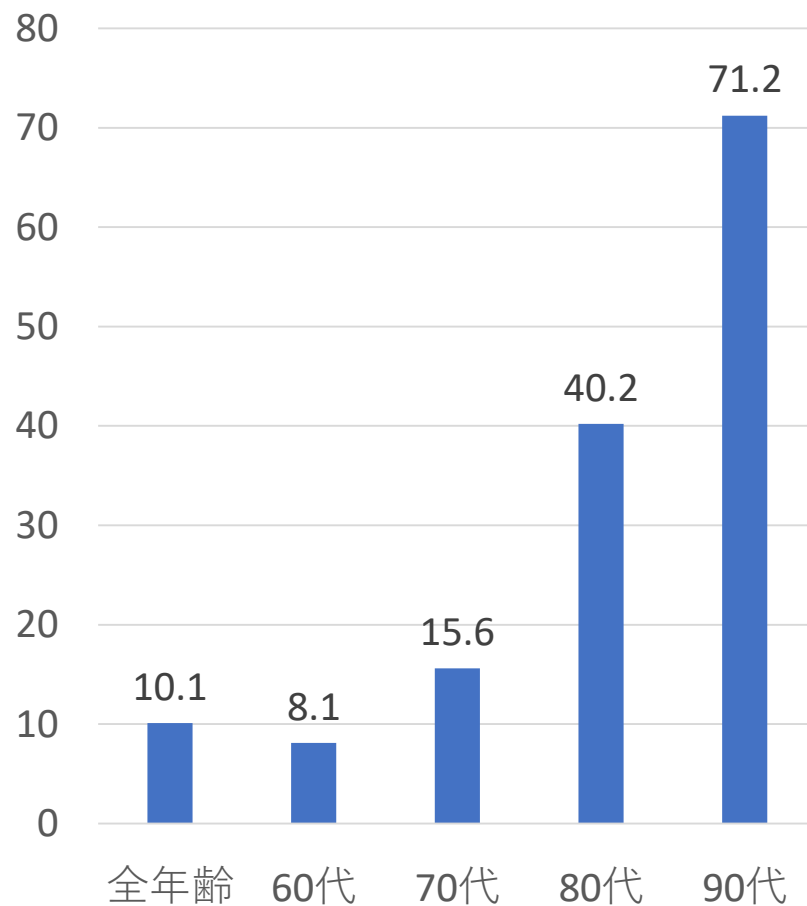
【2020年報集計結果】

# 年代別罹患率

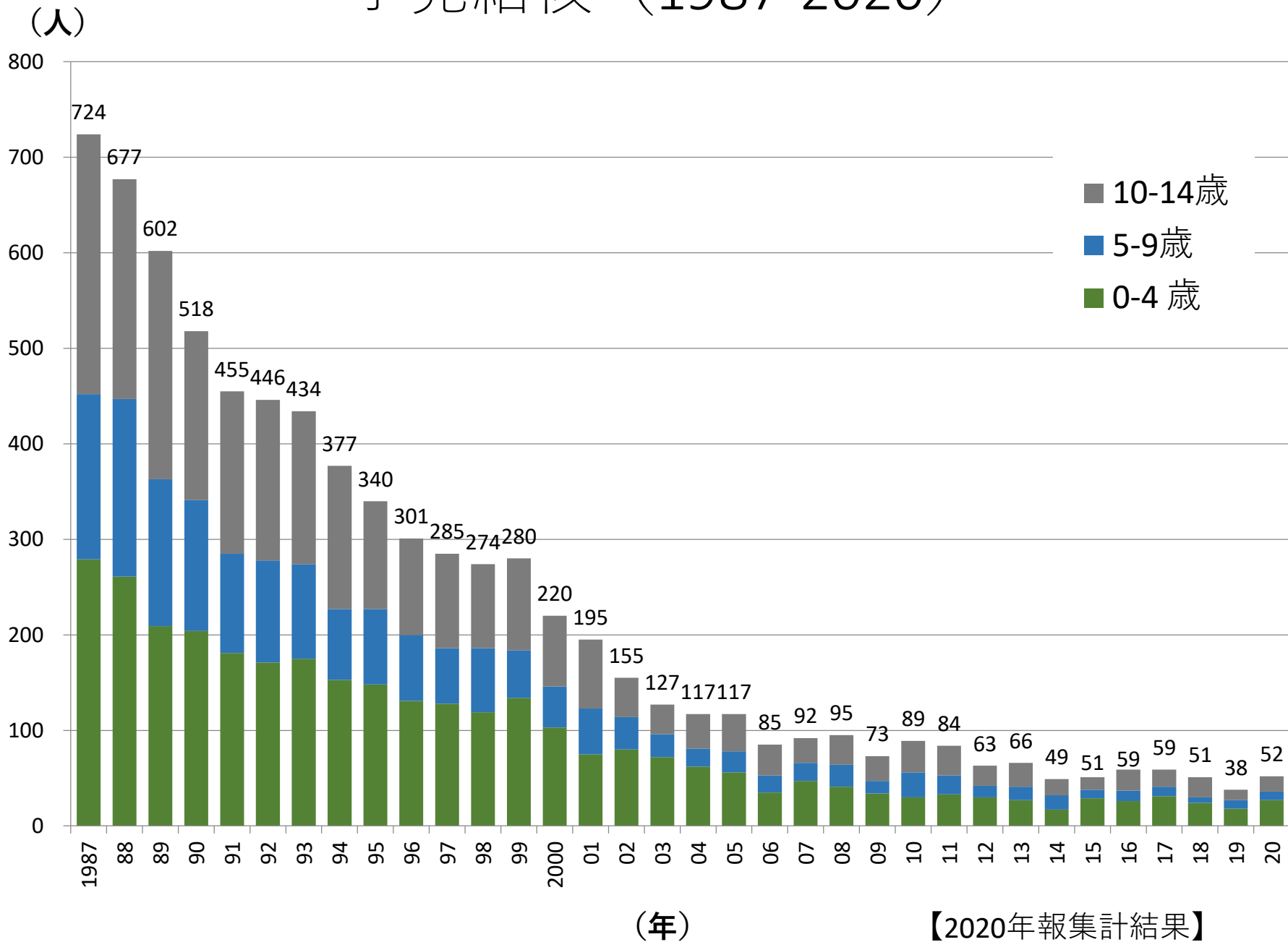
## 年代別罹患率の推移



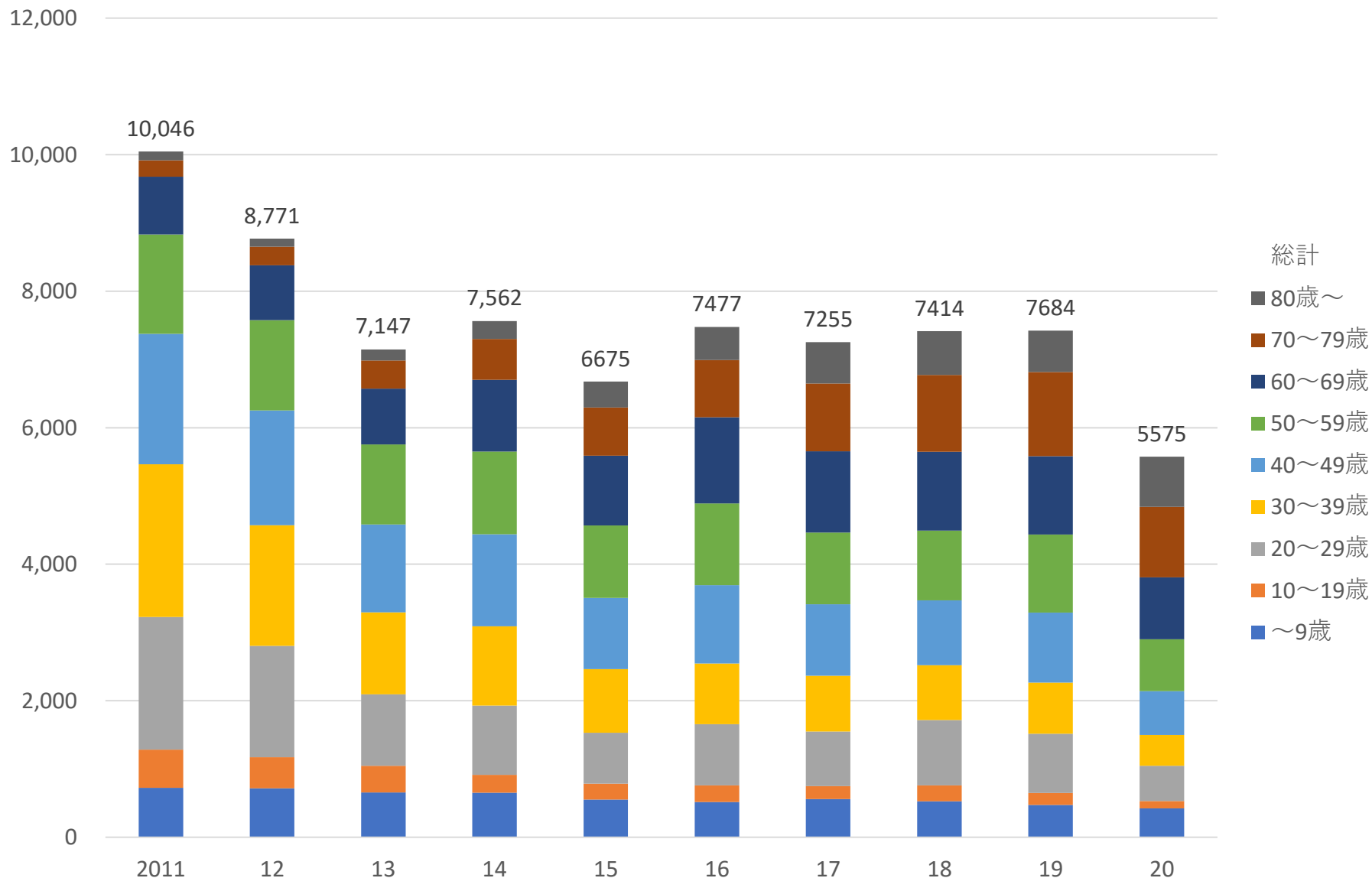
## 年代別罹患率(2020年)



# 小兒結核 (1987-2020)

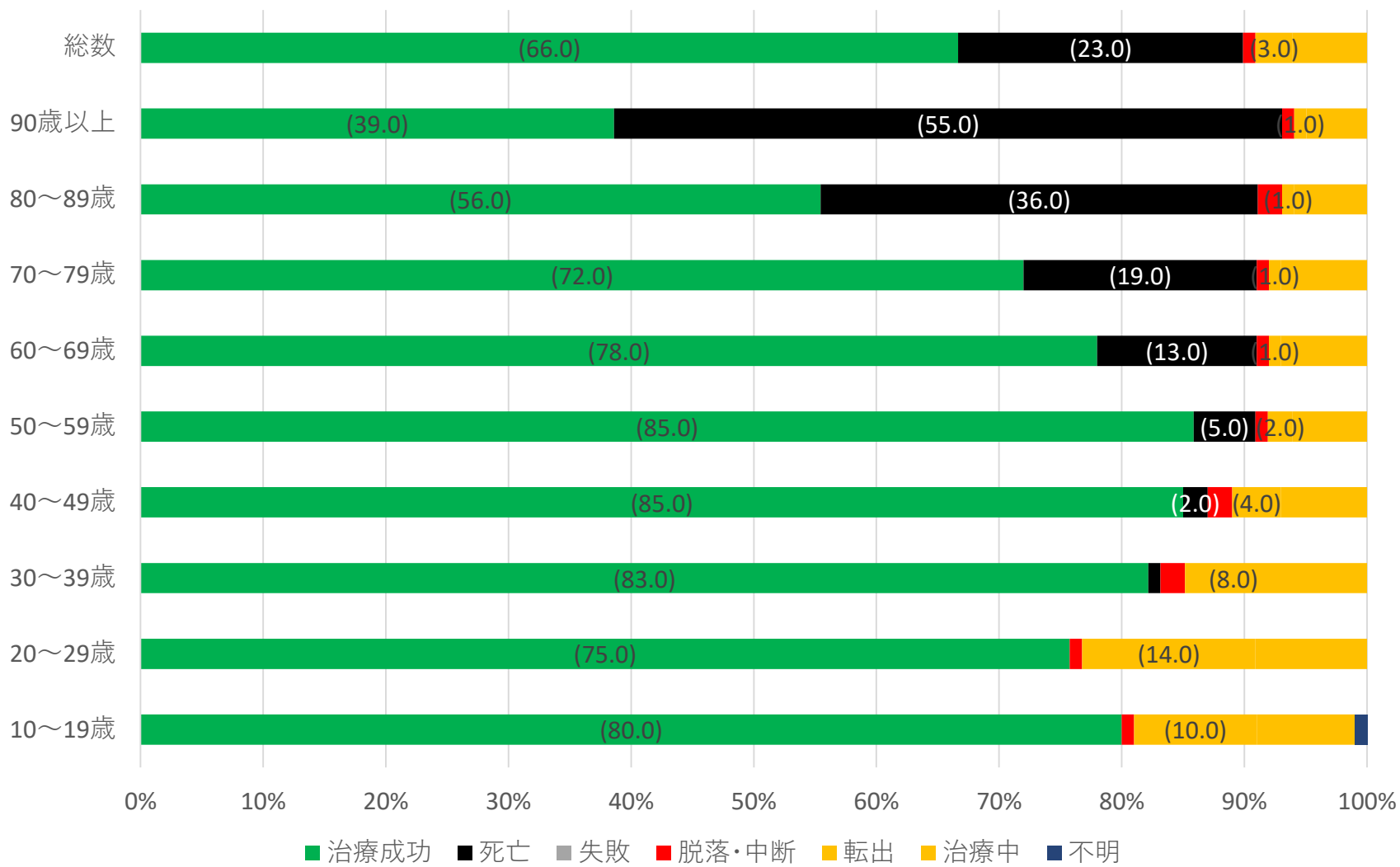


# LTBI届出数の推移(2011-2020)



【2020年報集計結果】

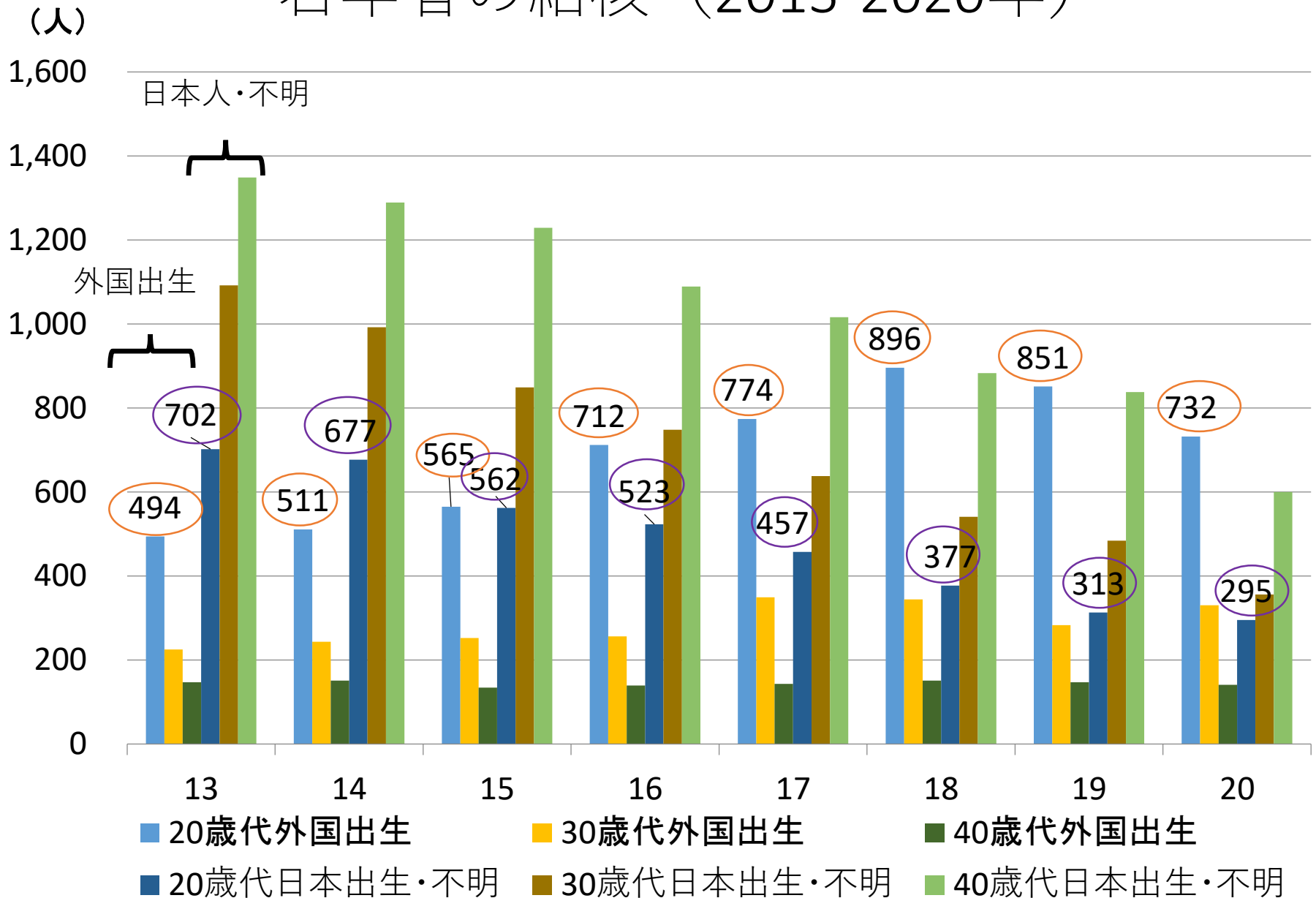
# 2019年新登録患者の治療成績



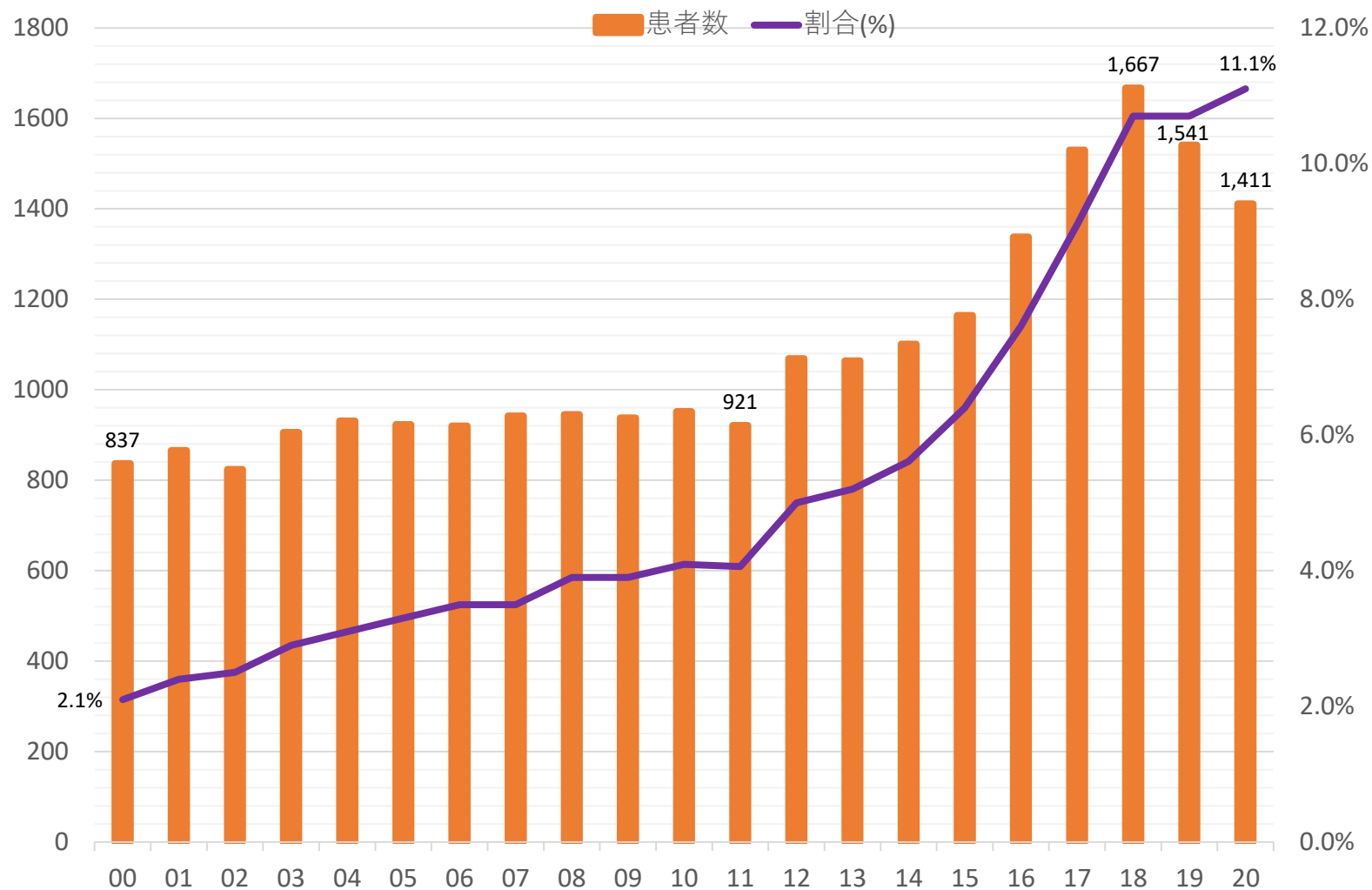
【2020年報集計結果】



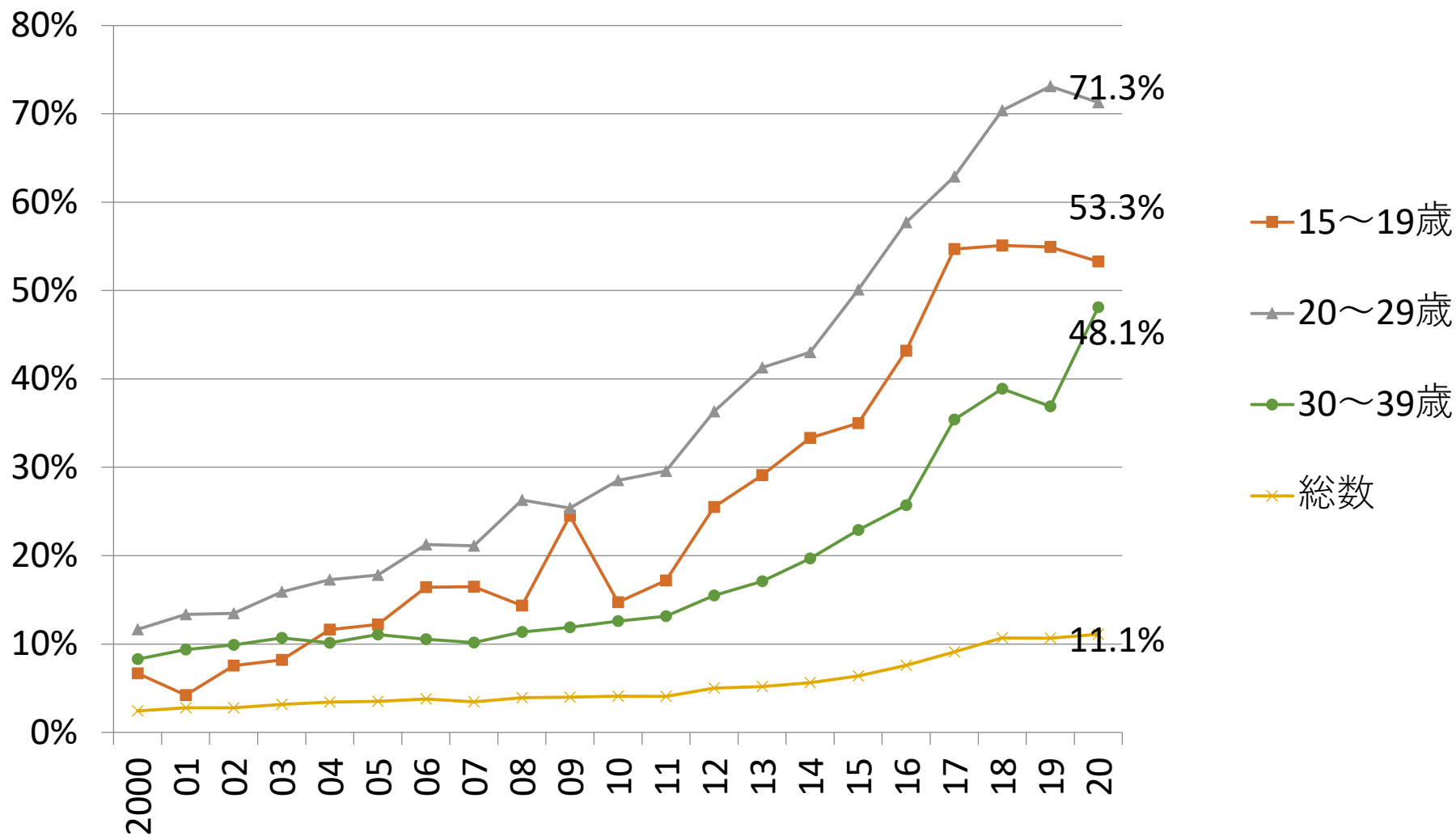
# 若年者の結核（2013-2020年）



# 外国出生の結核患者の数及び割合

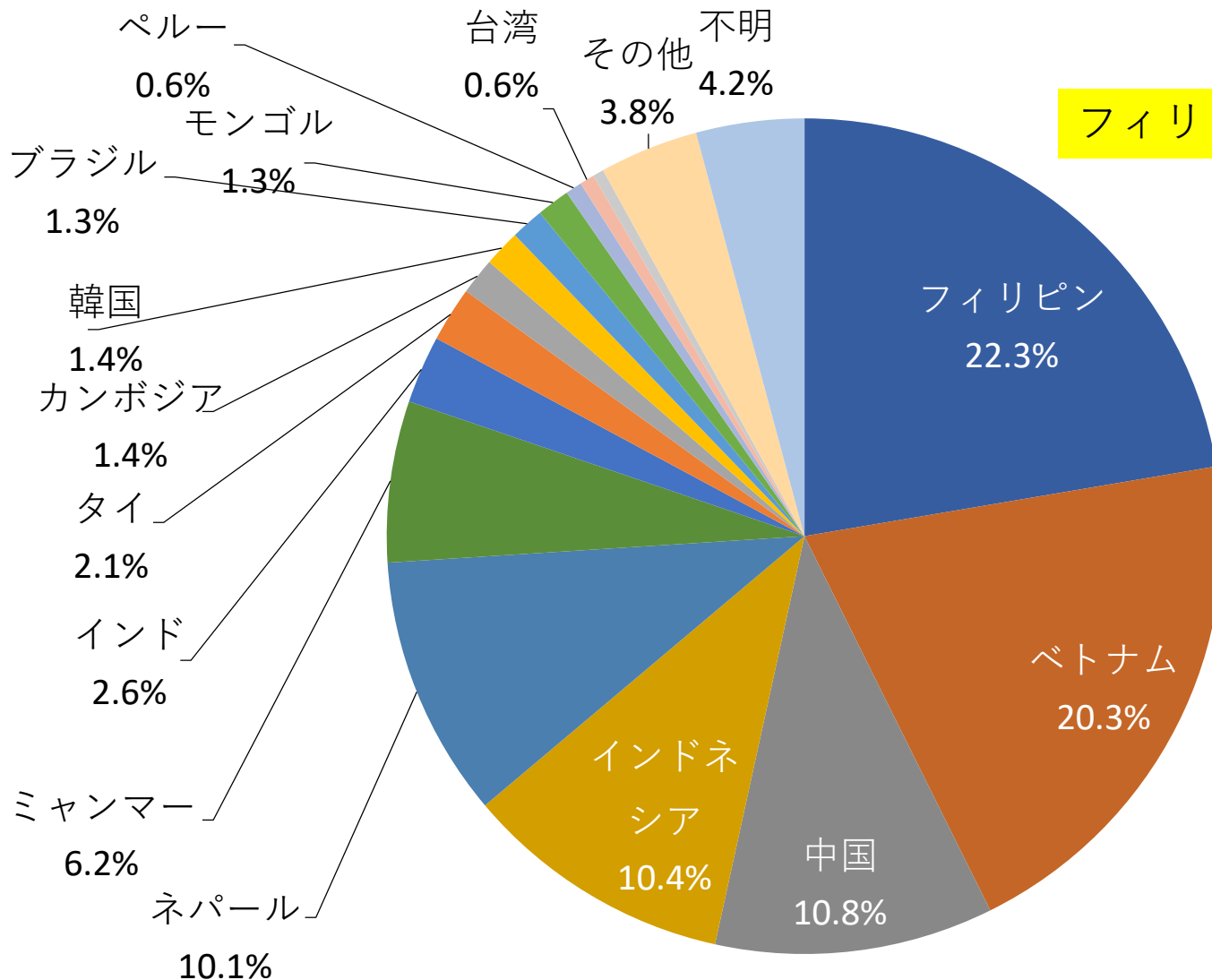


# 外国出生の結核患者割合, 2000-2020



【2020年報集計結果】

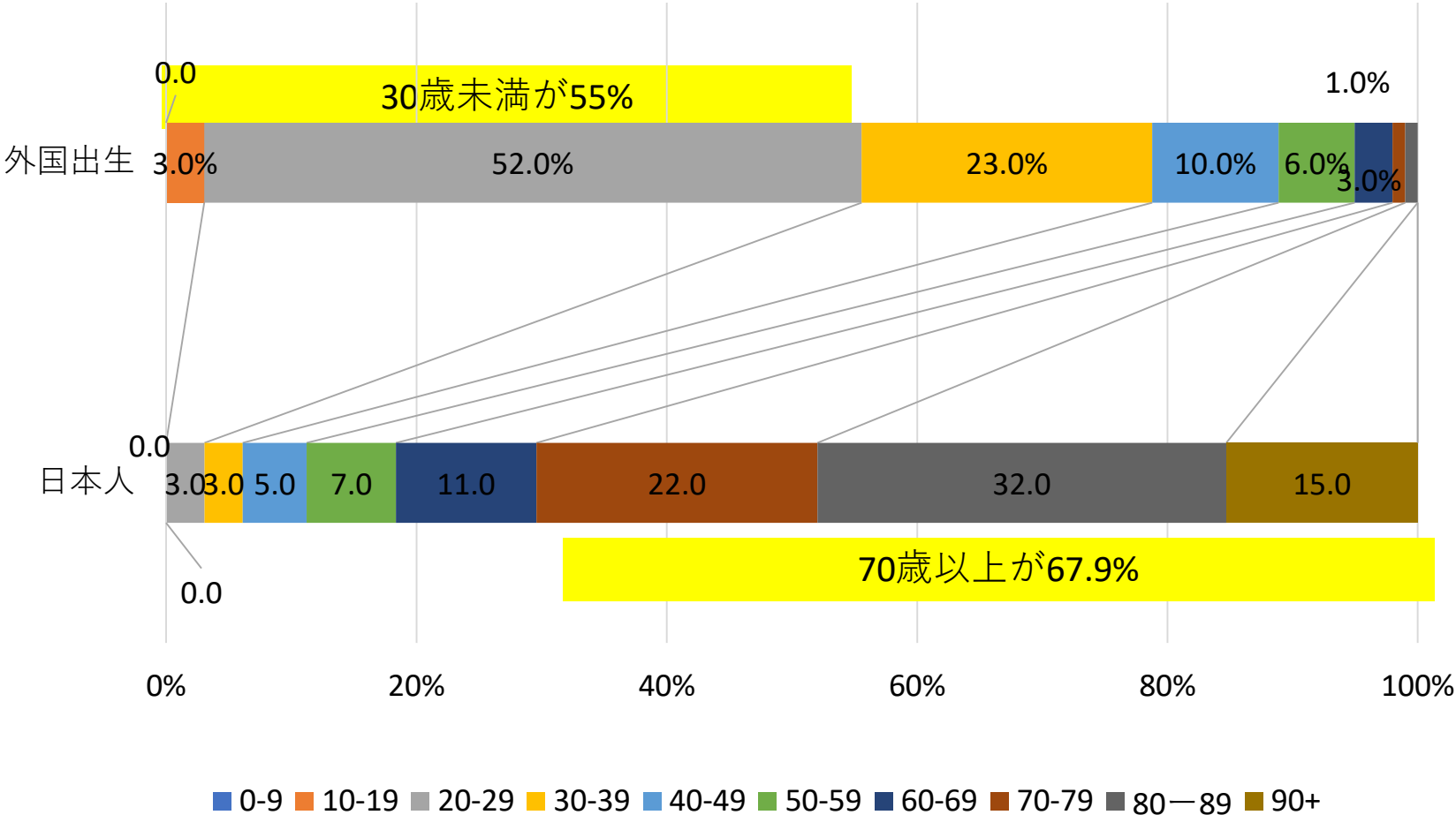
# 外国出生者の出身国(2020, n=1,411)



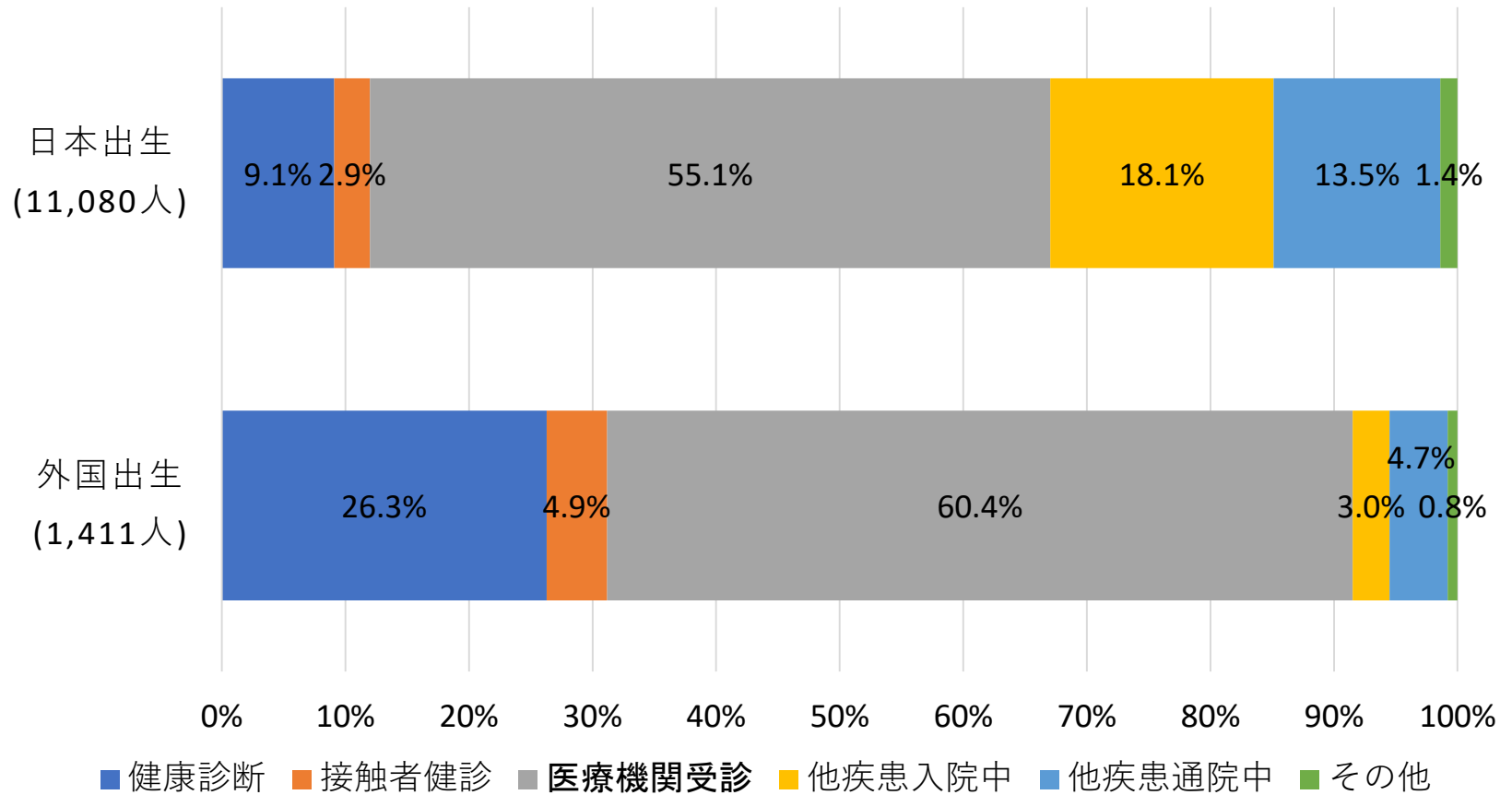
フィリピン(22.3%) 2位→1位

- 合計41か国地域によって出身国の構成は異なる
- 農業・漁業・製造業の技能実習生の発病があり，地方の問題にもなっている

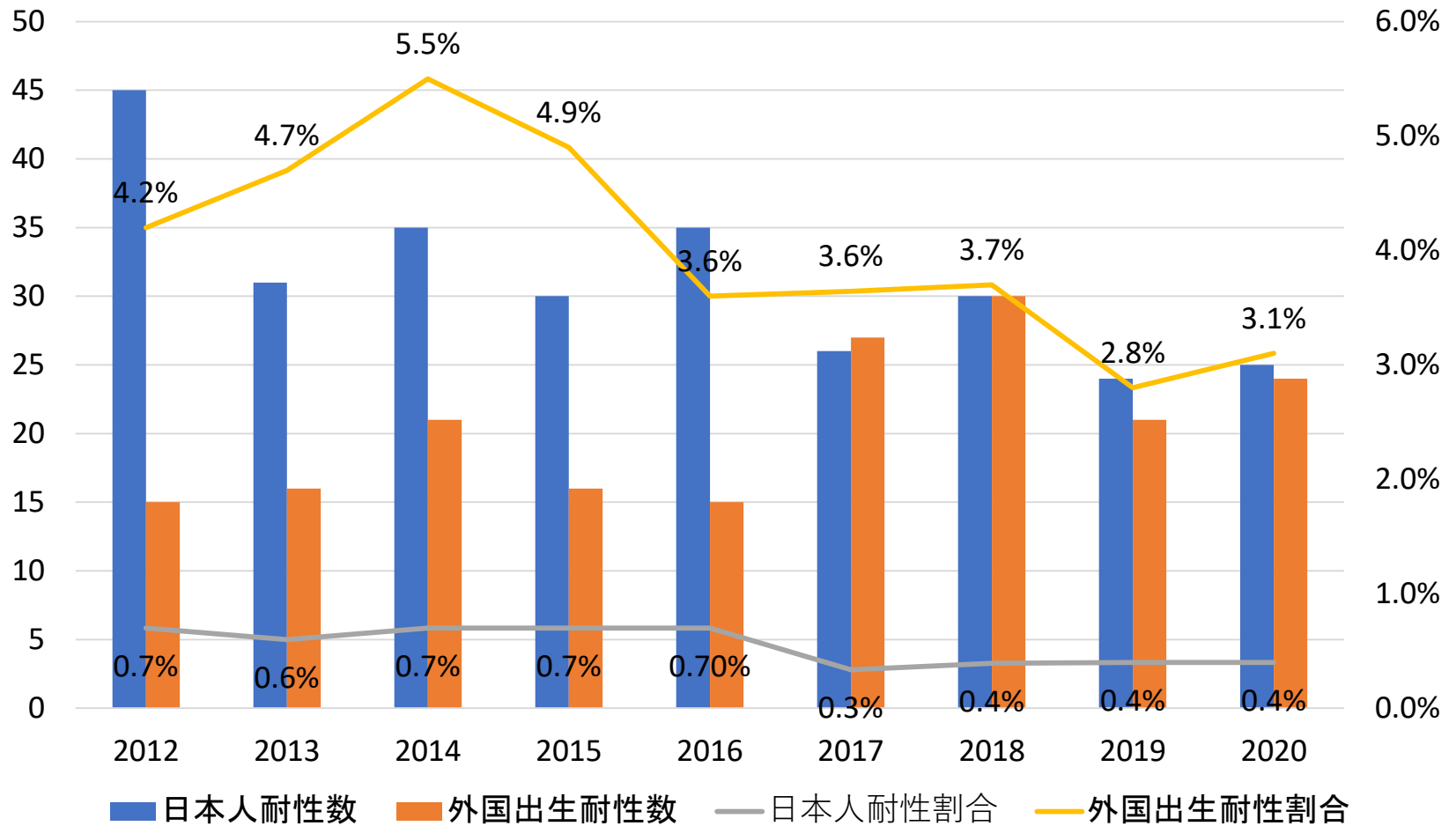
# 新登録患者の年齢割合(2020)



# 発見方法（出生国別）

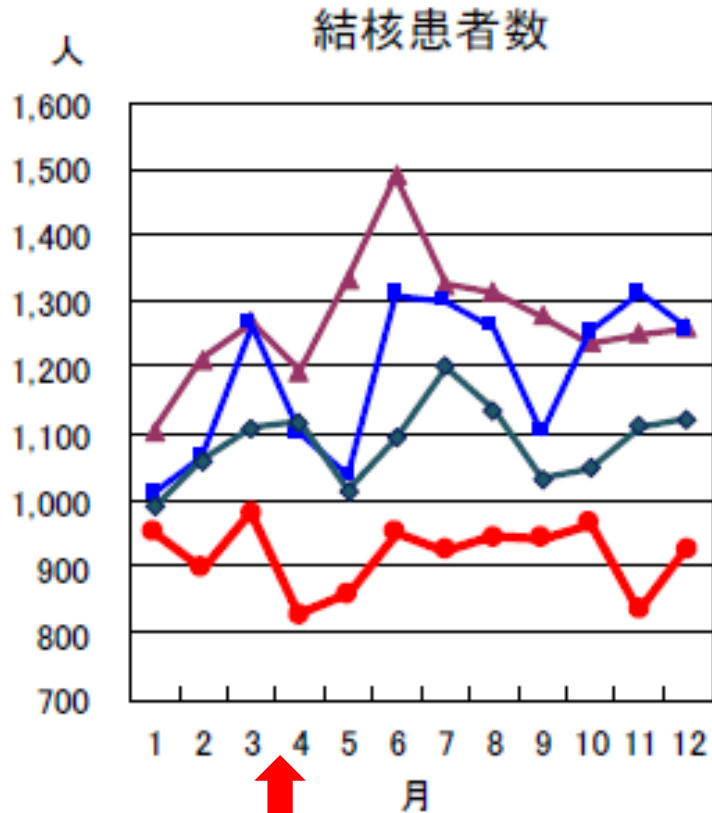


# 薬剤耐性結核 多剤耐性

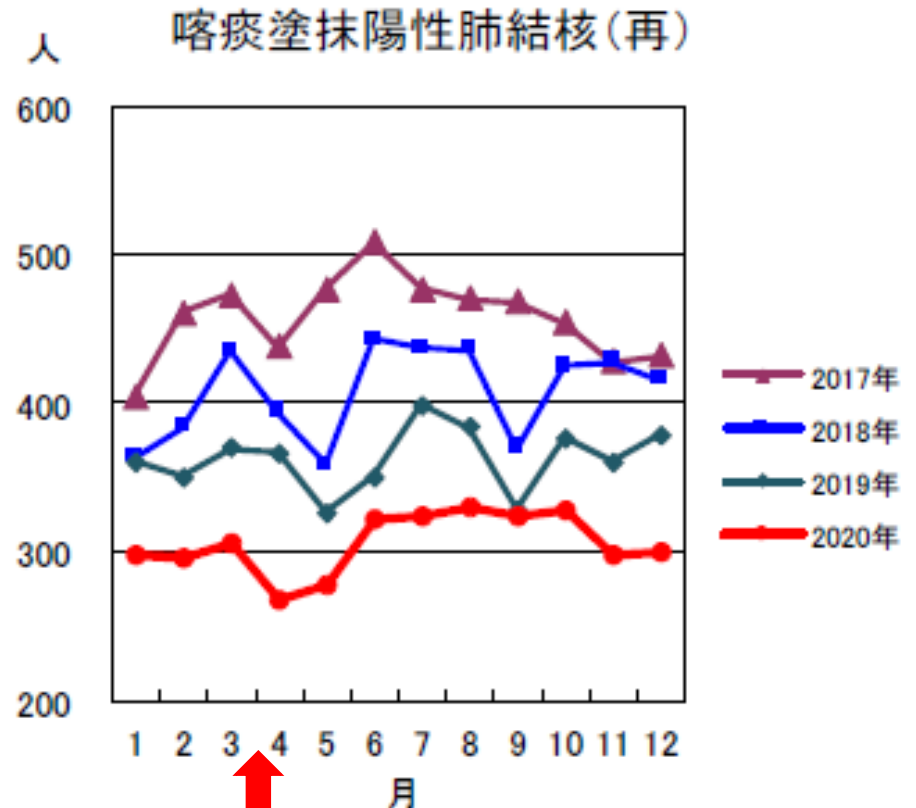


【Tuberculosis in Japan 2020, 2020年報集計結果】

# 新登録結核患者数、月別、 2017-2020年1-12月



緊急事態宣言第1回



緊急事態宣言第1回

【出典：公益財団法人結核予防会結核研究所疫学情報センター  
<http://www.jata.or.jp/rit/ekigaku/toukei2>】



# 患者発見（2020年1-12月、月報累積、前年比）

- 活動性結核（2017-2019年の減少：7%）
  - 14,400→12,430(1,970人, 13.7%減少, 年換算罹患率：9.9)
- 外国出生者 月報に基づく
  - 1,518→1,344（11%減少）、日本人：12,404→10,742(13%減)
  - 入国5年以内:23%減, それ以外：2%増
- 発見方法別
  - 医療機関：11,652→10,511（10%減）
    - 他疾患で通院中：8%減
    - 有症状発見：10%減
  - 定期健診発見：32%減
    - 学校検診：222→73（67%減）,
    - 施設健診：73→32（56%減）
  - 接触者健診発見：562→387（31%減）

家族外の接触者健診による結核患者発見の減少が顕著
- LTBI治療
  - 7,647→5,421（29%減）